

# エコ通勤優良事業所認証制度について

交通環境対策部長 圓山博嗣



公益財団法人

交通エコロジー・モビリティ財団

Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation

# エコモ財団とは

# 人と環境にやさしい交通を追求

## ◆ 沿革

- 1994年9月 28年前  
「財団法人交通アメニティ推進機構」として設立  
(国交省外郭団体、日本財団による助成)
- 1997年12月 「交通エコロジー・モビリティ財団」と名称変更  
(環境対策事業を追加)
- 2012年4月 「公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団」へ移行

## ◆ 目的

バリアフリー事業

- 高齢者および障害者等のより一層円滑なモビリティを実現するための啓発  
広報、情報提供及び調査研究並びに施設の整備、保有、貸し付け及び施設整備等に対するその他の支援を行うとともに、地球的規模の課題である環境問題の解決、地域の国際交流等を推進するための事業及びそれに関する支援を行うことにより、人及び地球にやさしい社会環境を実現していく。

交通  
環境  
対策  
事業



公益財団法人  
交通エコロジー・モビリティ財団  
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation

# 令和3年度 交通環境対策の取組み

## 事 業



- 運輸事業におけるグリーン経営認証制度の実施

## 教 育・啓 発

- モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）の普及
- 環境的に持続可能な交通（EST）の普及
- エコドライブの普及
- 交通環境に関する啓発

### エコ通勤優良事業所認証制度の実施



エコプロ展示会への出展

「運輸・交通と環境」の作成と発行

## 調 査・研 究

- グリーンスローモビリティの普及
- 地域における外国人旅行者等の円滑な移動の推進
- 地域バス交通の維持・活性化
- 国際会議への参加と情報発信

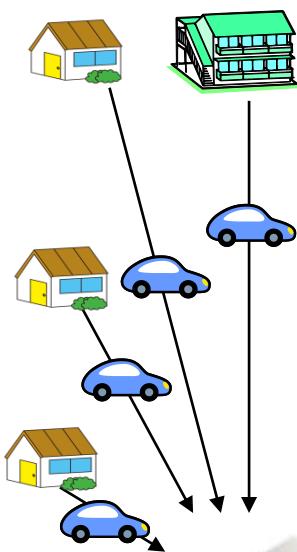


## 「エコ通勤」とは…

クルマから、徒歩や自転車・公共交通等の、環境に優しい通勤手段への転換を目指そうとする取組み

### 取組前

自宅・社宅・寮等

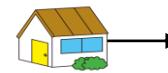


- ・渋滞の発生
- ・周辺環境の悪化
- ・交通事故

### 取組のイメージ

#### 「エコ通勤」の実施

自宅・社宅・  
寮 等



社宅・寮 等



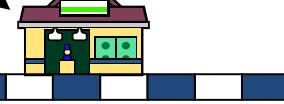
相乗り



自転車

### 取組後

鉄道駅 等



通勤バス



オフィス、工場 等

オフィス、工場 等

公共交通活性化や、環境負荷削減による気候変動緩和とともに、  
健康増進、駐車場経費削減、企業イメージ向上、渋滞対策等のメリットも期待できる

# エコ通勤に取り組んだところでたいしたメリットがない …なんてことはありません。



★:認証取得/関連

## 事業所にとって.....

- 企業イメージの向上
- 従業員の健康増進
- 従業員の交通安全確保
- 経費の削減(医療保険・駐車場)

## 従業員にとって.....

- 健康増進
- 渋滞に巻き込まれず通勤
- 公共交通により安全に通勤

## 地域にとって.....

- 渋滞緩和
- 地球温暖化防止
- 公共交通のサービス水準向上
- 中心市街地の活性化

### 【参考1】登録によって得られる具体的なメリットの例

→ (愛知県庁・豊田市役所) エコ通勤優良事業所認証制度に登録している事業所に対し、**公共入札・調達で優遇**する制度★

### 【参考2】働き方改革との連携（時流に沿った企業イメージ）

→ (近年) **勤務時間適正化と最終電車・バス利用の促進**

### 【参考3】従業員の健康増進



→ (土浦市) 職員の健康増進・運動不足解消を図るため、「**自転車通勤推奨週間**」を導入★

→ (茨城県) 働く世代も**歩行**に取り組みやすい県開発アプリによる「いばらきヘルスケアポイント」と景品・サービス交換★

### 【参考4】渋滞の緩和



→ (松江市) 通常時と比較して、**ノーマイカーウィーク**実施期間の市内主要交差点の渋滞が緩和

### 【参考5】地域全体の取組

→ (滋賀県) **自治体主導型の政策**によるエコ通勤の職員率先行動と県内企業への普及★

→ (長野県) 県公式の交通案内アプリ「信州ナビ」と連携したルート機能等で**便利に楽しく**促進するエコ通勤★

→ (松本市) 3ランク制「ecoオフィスマツモト」**事業所認定**における「エコ通勤の実施」の加点による事業所への啓発★

# エコ通勤優良事業所認証制度の実施

エコ通勤優良事業所認証制度は、**エコ通勤**に関する意識が高く、  
**エコ通勤**に関する取組みを自主的かつ積極的に推進している事業所を  
「**エコ通勤優良事業所**」として認証し、登録するとともに、その取組み事例を  
広く国民に周知することにより、**エコ通勤**の普及促進を図るものである。

令和3年度も引き続き認証制度を実施するとともに、より効果的な  
プロモーションツールの改善を行い、**地方運輸局等と連携**した広報活動に努  
め、**エコ通勤**のさらなる普及を図る。



2009年6月創設。

2022年1月末現在 756事業所が登録

公共交通利用推進等マネジメント協議会

(認証制度事務局： 国土交通省、（公財）交通エコロジー・モビリティ財団)



### 「エコ通勤優良事業所認証制度」とは・・・

- エコ通勤に取り組んでいると認められる  
「事業所」を「**公的**」に認証します。
- 認証・登録にかかる費用は無料
- 認証制度ホームページ等で公表
- 優秀な取組みは国土交通大臣賞で表彰

公共交通利用推進等マネジメント協議会

認証制度事務局：国土交通省総合政策局地域交通課及び交通エコロジー・モビリティ財団  
(略称：エコモ財団)



2009年6月創設

## 1. 制度の趣旨・目的（認証要綱第1条）

エコ通勤に関する取組みを積極的に推進している事業所、自治体を優良事業所として認証し、登録するとともに、その取組み事例を広く国民に周知することにより、エコ通勤の普及促進を図る。

## 2. 認証対象及び認証・登録要件（認証要綱第3条）

全国の事業所（行政機関を含む）のうち、一定の基準を満たした**事業所を対象**とする。

- ①**エコ通勤推進担当者が指名**されていること
- ②**従業員の通勤実態を把握**していること
- ③**エコ通勤に資する具体的な取組みを実施**していること
- ④**エコ通勤プランが作成**されていること

- エコ通勤を促す通勤手当等
- 自転車通勤の奨励
- 駐車場の削減
- 通勤バスの導入
- 在宅勤務制度の導入

## 3. 認証機関（認証要綱第3条、第11条、実施要領4）

- ・公共交通利用推進等マネジメント協議会会長により、認証・登録を行う。
- ・申請窓口は、地方運輸局等、**認証・登録にかかる費用は無料**。
- ・国土交通省総合政策局地域交通課及び交通エコロジー・モビリティ財団で審査を実施。

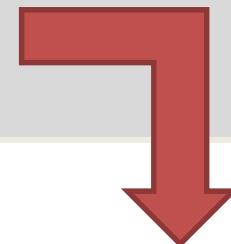
## 4. その他（認証要綱第7条、第8条）

- ・**有効期間は2年。1年ごとに取組状況の報告（定期報告）を行い、2回（2年分）の報告とエコ通勤プラン作成により、有効期間を2年延長（更新登録）する。**
- ・取組状況報告において報告されたCO<sub>2</sub>削減量は、京都議定書目標達成計画の実施報告に算入される。
- ・認証・登録された事業所はロゴマークの使用が許可され、HP等で公表される。

# 認証・登録要件及び新規申請時の書類

## 認証・登録要件

- ①エコ通勤推進担当者が指名されていること
- ②従業員の通勤実態を把握していること
- ③エコ通勤に資する具体的な取組みを実施していること
- ④エコ通勤プランが作成されていること



③エコ通勤に資する具体的な取組みとは、具体的には下記のア、イのいずれかを実施していることとする（実施要領3）

ア

### 従業員に対するコミュニケーション・アンケートの実施

または

イ

#### エコ通勤の呼びかけ

- パンフレットやメールの配布
- 公共交通の情報提供
- 研修会の実施 等



#### その他エコ通勤に資する取組み

- エコ通勤を促す通勤制度の実施
- 自転車通勤の奨励
- 駐車場の削減
- 通勤バスの導入
- 在宅勤務制度の導入 等



# ア.「従業員に対するコミュニケーション・アンケートの実施」

調査票（回収用）

ご回答後、はがして担当者にお渡しください。

問1 現在、どの交通機関を、どれくらい利用して、通勤していますか？

記入例を参考に①～⑥の交通機関すべてについて、ご回答ください。

記入例	<input type="checkbox"/> 月に 3 日程度 通勤している
	<input checked="" type="checkbox"/> 週に 3 日程度 通勤している
	<input type="checkbox"/> 通勤していない

①	 鉄道やバス	をつかって、 <input type="checkbox"/> 月に ___ 日程度 通勤している
②	 クルマ（運転）※タクシーも含む	だけをつかって、 <input type="checkbox"/> 月に ___ 日程度 通勤している
③	 クルマ（同乗）	をつかって、 <input type="checkbox"/> 月に ___ 日程度 通勤している
④	 バイク	だけをつかって、 <input type="checkbox"/> 月に ___ 日程度 通勤している
⑤	 自転車	だけをつかって、 <input type="checkbox"/> 月に ___ 日程度 通勤している
⑥	 徒歩	だけで、 <input type="checkbox"/> 月に ___ 日程度 通勤している

問2 「エコ通勤」運動は、同封の冊子  のような考え方で、国民の皆様に、「エコ通勤」を呼びかけるものです。この冊子について、以下の問い合わせください。

① この冊子を読む前から、国土交通省が進める「エコ通勤」運動をご存じでしたか？

まったく知らなかった 名前だけは知っていた よく知っている

② 「『クルマ利用』とCO<sub>2</sub>」のページ（2頁）について、内容をご存じでしたか？

まったく知らなかった 何となく知っていた よく知っている

③ 「クルマ利用を、少し、減らすだけで…」のページ（3頁）について、内容をご存じでしたか？

まったく知らなかった 何となく知っていた よく知っている

④ この冊子をお読みいただいた「エコ通勤」運動の趣旨はご理解いただけましたか？

分からず 何となく分かった よく分かった

調査票（回収用）

ご回答後、はがして担当者にお渡しください。

問3 地球温暖化対策のためには、クルマ利用はできるだけ減らした方がいいと思いますか？

全く思わない 少し思う 思う とても思う

問4 クルマを少しでも利用して通勤されている方にお伺いします

（利用していない方は、終了になります）

① クルマの代わりに、「徒歩」や「自転車」で通勤することは可能ですか？

絶対に無理 無理ではないが、難しい できる

② クルマの代わりに、「電車」や「バス」で通勤することは可能ですか？

絶対に無理 無理ではないが、難しい できる

③ 「エコ通勤」を「少しでも」実践してみようと思いますか？

全く思わない → 恐れ入りますが、理由をお聞かせいただけますか？  
少し思う  
思う  
とても思う

（ご記入後、アンケート調査は終了になります）

「少し思う」、「思う」、「とても思う」と回答した方は問5へ

問5 もし、「エコ通勤」をするとしたら、どのようにしてみようと思いますか？

以下の記入例にならって、あなたの「エコ通勤」のイメージをお書きください。

＜記入例＞  
・自転車で走るので、基本的に自転車で通勤することにする。  
・次の通勤だけは、クルマなく、電車・バスの経路を申請して、それで来るようとする。  
・まずは、晴れた日だけでも、自転車で通勤してみる。  
・お酒を飲む日は、「代行」を辞めて、バス・電車で通勤する。

問6 問5でお書きいただいた「エコ通勤」は、実際にできそうですか。

無理 多分、できる できる

ご協力、ありがとうございました。  
是非これを機会に、できる範囲で、  
「エコ通勤」にお取り組みいただければ幸いです。



# イ.「エコ通勤の呼びかけ」+「その他エコ通勤に資する取組み」

## 2. その他の取組み

実施項目	(コミュニケーション・アンケートを実施していない場合、以下の①～④から1つ以上の取組みの実施が必須です。)
エコ通勤の呼びかけ	<input checked="" type="radio"/> ①パンフレットやメールの配布 ②公共交通の情報を提供 ③研修会の実施 ④その他（ ）
	(コミュニケーション・アンケートを実施していない場合、以下の①～⑦から1つ以上の取組みの実施が必須です。)
エコ通勤を促す通勤制度の実施	<input checked="" type="radio"/> ①マイカー通勤の禁止（一定の条件に限る場合を含む） ②相乗り制度の導入 ③時差出勤制度の導入 ④歩徒通勤者への補助制度の導入 ⑤その他（ ）
自転車通勤の奨励	<input checked="" type="radio"/> ⑥自転車通勤者への補助制度の導入 ⑦駐輪場の設置 ⑧レンタサイクルの導入 ⑨自転車通勤者のための更衣室やシャワールームの設置 ⑩その他（ ）
駐車場の削減	<input checked="" type="radio"/> ⑪従業員用駐車場の有料化 ⑫その他（ ）
通勤バスの導入	⑬自社所有のバスによる送迎 ⑭バス事業者への運行委託 ⑮その他（ ）
在宅勤務制度の導入	⑯在宅勤務制度の導入
その他	⑰（ ）

※1 個々の従業員の交通行動の転換を促すためのアンケート調査

## 「エコ通勤の呼びかけ」

一つ以上の取組があればOKです。

呼びかけに使用したパンフレット  
やメール、提供した電車・バスの  
時刻表等を提出して下さい。

+

## 「その他エコ通勤に資する取組み」

一つ以上の取組があればOKです。

具体的な取組の資料を提出して下  
さい。



# 新規申請時の書類

## 認証・登録要件②「従業員の通勤実態の把握」

押印は廃止となりました

様式1  
公共交通利用推進等マネジメント協議会会長 殿

申請事業所名 \_\_\_\_\_  
代表者名 \_\_\_\_\_ 印

平成 年 月

エコ通勤優良事業所認証・登録申請書

エコ通勤推進に関する取組みを実施していますので、エコ通勤優良事業所としての認証・登録を申請します。

事業所名 \_\_\_\_\_  
代表者名 \_\_\_\_\_  
所在地 〒 \_\_\_\_\_

従業員数 ( ) 人

エコ通勤推進担当者 \_\_\_\_\_  
所属 \_\_\_\_\_  
職・氏名 \_\_\_\_\_  
TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_  
E-mail \_\_\_\_\_

押印が必要です

従業員の通勤方法毎の実態を記入して下さい

○従業員の通勤実態について記入してください。  
タクマだけで( )人 蔽道・バスを使って( )人  
バイクだけで( )人 自転車だけで( )人  
徒歩だけで( )人

○エコ活動に貢する取組みについて、実施した(している)項目に○を記入してください。  
(実施を説明するものを添付してください。)  
1. コミュニケーション・アンケートの実施<sup>\*</sup>  
実施時期( )  
【実施した場合は○を記入】

2. その他の取組み  
実施項目 (コミュニケーション・アンケートを実施していない場合、以下の①～⑩から1つ以上の取組みの実施が必須です。)  
エコ通勤の呼びかけ  
①パンフレットやメールの配布  
②公共交通の情報提供  
③研修会の実施  
④その他( )  
(コミュニケーション・アンケートを実施していない場合、以下の①～⑩から1つ以上の取組みの実施が必須です。)  
エコ通勤を促す通勤制度の実施  
①マイカー通勤の禁止(一定の条件に従う場合を含む)  
②乗り切り制度の導入  
③時差出勤制度の導入  
④自転車通勤者への補助制度の導入  
⑤その他( )  
⑥自転車通勤者への補助制度の導入  
⑦駐輪場の設置  
⑧レンタサイクルの導入  
⑨自転車通勤者ための更衣室やシャワールームの設置  
⑩その他( )  
駐車場の削減  
⑪従業員用駐車場の有料化  
⑫その他( )  
通勤バスの導入  
⑬当社所有のバスによる送迎  
⑭バス事業者への運行委託  
⑮その他( )  
在宅勤務制度の導入  
⑯在宅勤務制度の導入  
その他  
⑰( )

\*1 すべての従業員の交通行動の転換を促すためのアンケート調査

エコ通勤推進担当者を記入して下さい

エコ通勤に関する  
日々の取り組みです

## 認証・登録要件①「エコ通勤推進担当者の指名」



# 認証・登録要件④「エコ通勤プランの作成」

## 1. 通勤の現状

周辺交通の現状をふまえた通勤の課題や、現在の取組み等について記述してください。

(例)

当事業所は〇〇駅から2kmに位置し、また駅からは最寄バス停までバス路線が存在する。そのような立地条件にありながら、〇割の従業員がマイカーで通勤していた。

周辺道路の通勤時間帯の渋滞対策や周辺環境対策、従業員の健康対策のため、徒步や自転車による通勤を勧める講習会を開催してきており、徐々にマイカーから自転車や徒步に転換する従業員が増えてきたが、まだ〇割以上がマイカー通勤である。

## 2. 取組みの目標

今後（2年間程度）のエコ通勤の取組みの目標について記述してください。

(例)

- ・マイカー通勤者を、2年間で〇人まで減らす。
- ・マイカー通勤者の〇割が、月1回以上のエコ通勤を実施する。
- ・〇〇社宅に導入している通勤バスを既に全居住者が利用しており、引き続き現在の水準を維持する。

## 3. 今後の取組み

今後（2年間程度）、上記目標の達成のために実施する取組みの内容について記述してください。

(例)

### 【平成21年度】

- ・従業員に公共交通の時刻表や路線図を提供する。
- ・半年に1度、エコ通勤や健康増進を目的とした講習会を実施する（継続）。
- ・毎月、従業員のエコ通勤実施状況を調査する。また、調査結果からCO<sub>2</sub>削減量やカロリー消費量を計算し、社内広報等に掲載する。
- ・駐車場の有料化を検討する（平成22年度導入を目指す）。

### 【平成22年度】

- ・2km以内に居住する従業員のマイカー通勤禁止とすることを検討する（平成23年度導入を目指す）。
- ・周辺事業所と連携し、通勤バスの共同運行を検討する。
- ・駅までの歩道整備を市に要請する。



# 定期報告(登録より1年後)・更新登録(2年後)の書類（抜粋）

## 実績報告時添付資料チェックシート

○エコ通勤に資する取組みについて、登録申請時に申請した項目について、それぞれ「○」を記入し、実してください。

なお、申請時と同じ書類の提出を省略する場合は、「省略」と記入し

### 1. コミュニケーション・アンケートの実施

	申請	実績報告	添付
コミュニケーション・アンケート			使用したアンケート結果、分析結果

### 2. その他の取組み

	実施項目	申請	実績報告
エコ通勤の呼びかけ	①パンフレットやメールの配布		
	②公共交通の情報を提供		
	③研修会の実施		
	④その他（ ）		
エコ通勤を促す通勤制度の実施	①マイカー通勤の禁止（一定の条件に限る場合を含む）		
	②相乗り制度の導入		
	③時差出勤制度の導入		
	④徒歩通勤者への補助制度の導入		
	⑤その他（ ）		
自転車通勤の奨励	⑥自転車通勤者への補助制度の導入		
	⑦駐輪場の設置		
	⑧レンタサイクルの導入		
	⑨自転車通勤者のための更衣室やシャワールームの設置		
	⑩その他（ ）		
駐車場の削減	⑪従業員用駐車場の有料化		
	⑫その他（ ）		
通勤バスの導入	⑬自社所有のバスによる送迎		
	⑭バス事業者への運行委託		
	⑮その他（ ）		
その他	⑯在宅勤務制度の導入		
	⑰（ ）		社

## 認証・登録要件③「エコ通勤に資する具体的な取組み」

### 2. その他の取組み

実施項目	申請	実績報告	添付する書類の例
エコ通勤の呼びかけ	①パンフレットやメールの配布	○	配布したパンフレット、メールの文章
	②公共交通の情報を提供	○	配布・掲示した時刻表や路線図、インターネット画面のハードコピー
	③研修会の実施		研修会で使用した資料
	④その他（ ）		
エコ通勤を促す通勤制度の実施	①マイカー通勤の禁止（一定の条件に限る場合を含む）	○	社内規則の写し
	②相乗り制度の導入	省略	制度概要の写し
	③時差出勤制度の導入	省略	
	④徒歩通勤者への補助制度の導入	省略	
	⑤その他（ ）		
自転車通勤の奨励	⑥自転車通勤者への補助制度の導入		社内規則の写し
	⑦駐輪場の設置	○	駐輪場の写真
	⑧レンタサイクルの導入	省略	社内規則の写し、自転車の写真
	⑨自転車通勤者のための更衣室やシャワールームの設置	○	更衣室、シャワールームの写真
駐車場の削減	⑩その他（ ）		
	⑪従業員用駐車場の有料化	○	社内規則の写し
	⑫その他（ ）	省略	
通勤バス	⑬白社所有のバスによる送迎		バスの写真
	⑭バス事業者への運行委託		
の導入	⑮その他（ ）		
	⑯在宅勤務制度の導入		
その他	⑰（ ）		



# 1年間で削減したCO<sub>2</sub>排出量の削減量

様式5  
公共交通利用推進等マネジメント協議会会長 殿

平成 年 月 日

申請事業所名 \_\_\_\_\_  
代表者名 \_\_\_\_\_ 印

エコ通勤取組み実績報告書

平成 年 月から平成 年 月までに実施したエコ通勤の推進に関する取組みを報告します。

事業所名 \_\_\_\_\_

代表者名 \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_

エコ通勤推進担当者 \_\_\_\_\_

所属 \_\_\_\_\_

職・氏名 \_\_\_\_\_

T E L \_\_\_\_\_ F A X \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

エコ通勤取組み実績報告書

エコ通勤プランに基づいて実施した取組み等について記述してください。

ケース1. ノーマイカーデーの実績(合計日数)

ケース2. 自動車通勤者の増減数×年間勤務日数

ケース3. 上記の合計

基準年より全員がエコ通勤を継続実施している場合は、実績報告時のCO<sub>2</sub>排出削減量は“ゼロ”とする。

※実施を証明する資料を添付してください。

1年間で削減したCO<sub>2</sub>排出量（推計値）

削減量 \_\_\_\_\_ kg 削減割合 \_\_\_\_\_ %

※実施を証明する資料を添付してください。

1年間で削減したCO<sub>2</sub>排出量（推計値）

削減量 \_\_\_\_\_ kg 削減割合 \_\_\_\_\_ %

※推計根拠（削減量を算出できない場合はその理由）を添付してください。



# ケース1. ノーマイカーデー参加者数より算定

## 実績報告時CO<sub>2</sub>削減量計算例シート

年間CO<sub>2</sub>排出削減量の算出方法 【1】：ノーマイカーデー等の一時的な通勤手段転換の場合

資料1

■今回報告その1（ノーマイカーデー参加者数をそのまま削減効果算出の式に代入①～⑬）  
(エコ通勤に取り組み前は、ノーマイカーデー参加者はゼロと設定)

4月の参加者数計	人・日…①	10月の参加者数計	人・日…⑦
5月の参加者数計	人・日…②	11月の参加者数計	人・日…⑧
6月の参加者数計	人・日…③	12月の参加者数計	人・日…⑨
7月の参加者数計	人・日…④	1月の参加者数計	人・日…⑩
8月の参加者数計	人・日…⑤	2月の参加者数計	人・日…⑪
9月の参加者数計	人・日…⑥	3月の参加者数計	人・日…⑫
		エコ通勤 年間のべ人数 ①～⑬の合計	0 人・日…⑯

■今回報告その2(削減量の算出:事業所所在地域における式に⑯の値を入力)

CO <sub>2</sub> 排出原単位 [kg/l]	往復通勤距離 [km]	マイカーの燃費 [km/l]	⑯の値が入ります エコ通勤 年間のべ人数 [人・日]	(a) 1年間の CO <sub>2</sub> 排出削減量 [kg]
2.32	×	23.8	÷	11.7 × 0 = 0.0

CO<sub>2</sub>排出原単位 : ガソリン 2.32kg/l

往復通勤距離 : 平成27年全国都市交通特性調査(国交省)における自動車通勤者の平均値 片道11.9kmより、  
往復 11.9km × 2 = 23.8km

マイカーの燃費 : 自動車燃料消費量統計年報平成27年分(国交省)より、ガソリン旅客乗用車の走行キロを  
燃料消費量で除した 実走行燃費 11.7km/l

※ 下線部: 2015年3月30日公開「実績報告時CO<sub>2</sub>削減量計算例シート」から値を更新した箇所



## ケース2. 自動車通勤者の増減より算定

### 実績報告時CO<sub>2</sub>削減量計算例シート

年間CO<sub>2</sub>排出削減量の算出方法【2】: 年間を通じたマイカーからの他の通勤手段への転換の場合

資料2

■エコ通勤取り組み前(基準年の設定:①と②を入力、過去の報告と同様)

基準年

年…①

マイカー通勤者数

人…②

■今回報告その1(基本データ:③、④と⑥を入力)

報告年月

年月…③

マイカー通勤者数

人…④

基準年に対する  
エコ通勤実施者  
数②-④

人…⑤

年間業務日数

日…⑥

エコ通勤  
年間のペ人数  
⑤×⑥

人・日…⑦

■今回報告その2(削減量の算出:事業所所在地域における式に⑦の値を入力)

CO<sub>2</sub>排出原単位  
[kg/ℓ]

往復通勤距離  
[km]

マイカーの燃費  
[km/ℓ]

(7)の値が入ります  
エコ通勤  
年間のペ人数  
[人・日]

(b)  
1年間の  
CO<sub>2</sub>排出削減量  
[kg]

$$2.32 \times 23.8 \div 11.7 \times 0 = 0.0$$

CO<sub>2</sub>排出原単位 : ガソリン 2.32kg/ℓ

往復通勤距離 : 平成27年全国都市交通特性調査(国交省)における自動車通勤者の平均値 片道11.9kmより、  
往復 11.9km × 2 = 23.8km

マイカーの燃費 : 自動車燃料消費量統計年報平成27年分(国交省)より、ガソリン旅客乗用車の走行キロを  
燃料消費量で除した 実走行燃費 11.7km/ℓ

※ 下線部: 2015年3月30日公開「実績報告時CO<sub>2</sub>削減量計算例シート」から値を更新した箇所



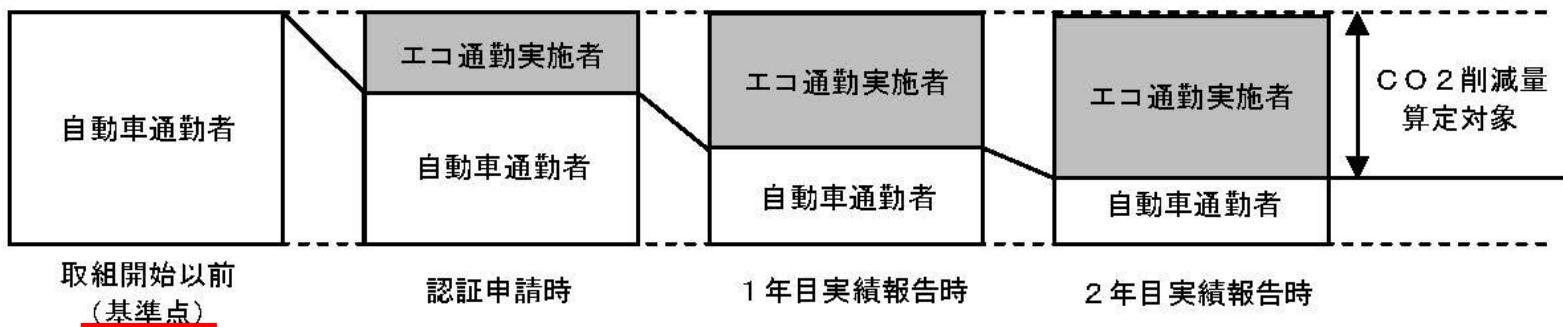
公益財団法人  
交通エコロジー・モビリティ財団  
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation

エコモ財団HPに掲載

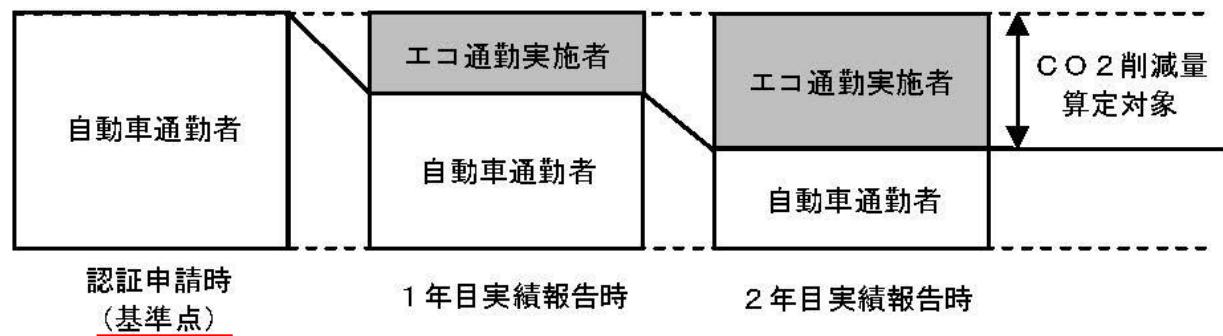
# 削減量の算定方法

## ケース1. 自動車通勤者の増減より算定

【例：申請以前から通勤実態を把握している場合】



【例：申請時に初めて通勤実態を把握した場合】



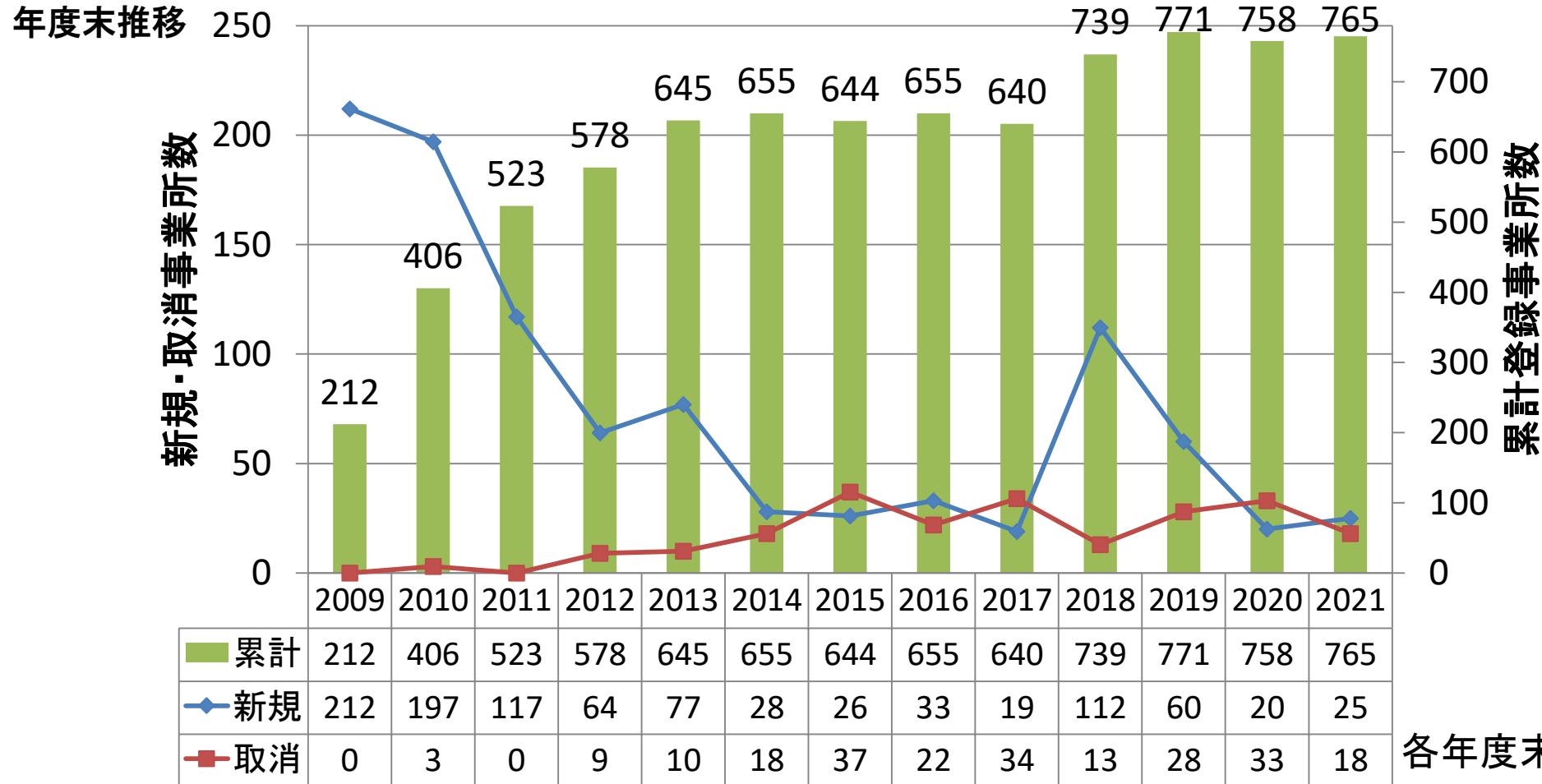
## ケース2. ノーマイカーデー参加者数より算定

○○市役所 平成27年4月 ノーマイカーデー実績報告

\* 4月～11月の毎週金曜日がノーマイカーデー

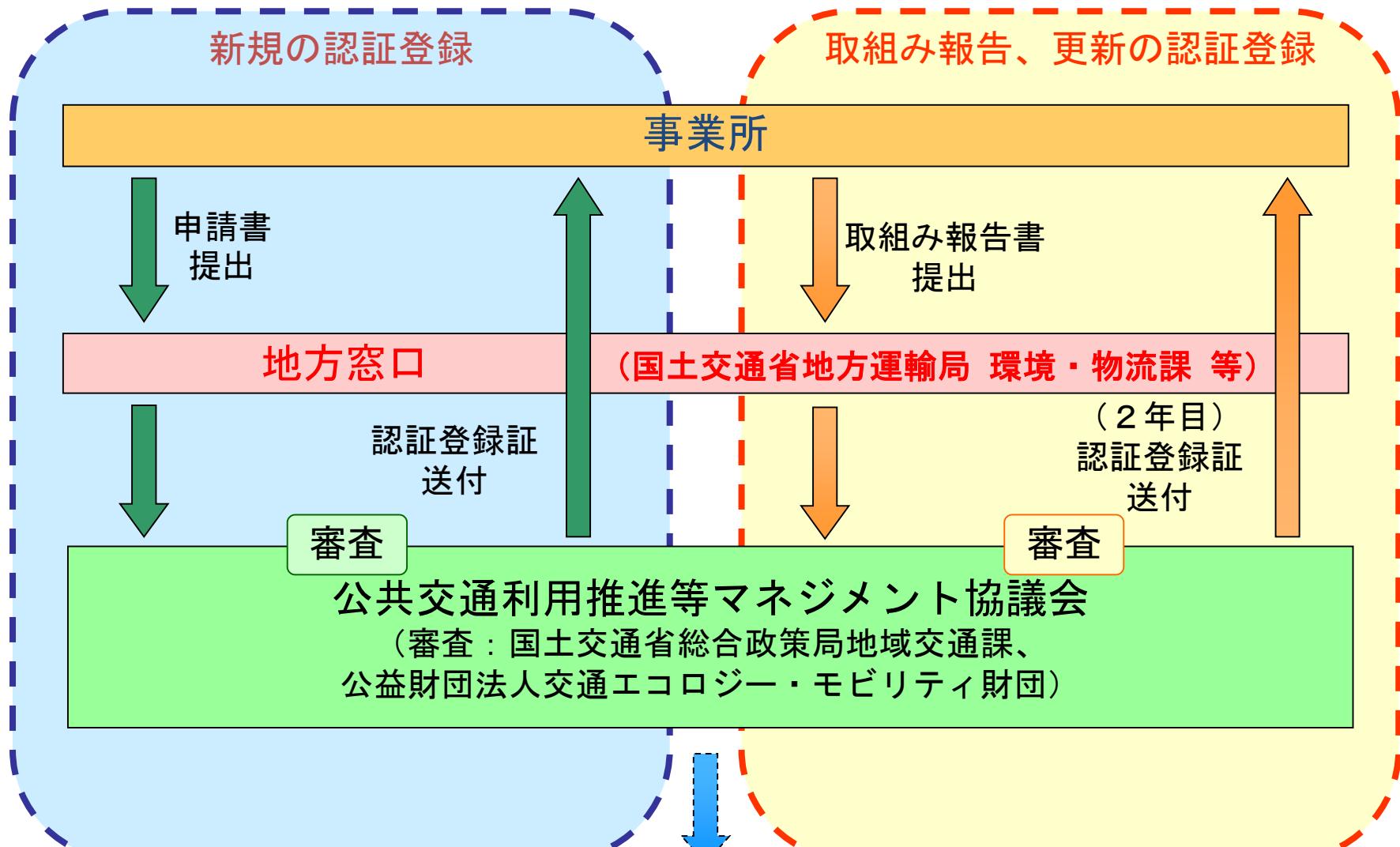
番号	所属	氏名	届出通勤方法	往復通勤距離	ノーマイカーデー 参加回数	削減距離	燃費	削減燃料	CO2削減量	備考
1	総務課	江古 太郎	自動車	20 km	4	80 km	10. 4 km/l	8. 25 l	17. 8 kg	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
合計										

# 年度別 新規・取消・累計事業所数（全体）



- 2009年度、2010年度は約200事業所増加したが、2013年度以降は頭打ち。
- 2014年度以降は取消が増加し、新規と同程度発生していたが、2018年度に入ってからは取消より新規が多く、増加に転じた。
- 2020年度以降はコロナの影響もあり新規は減少。累計は横ばい。

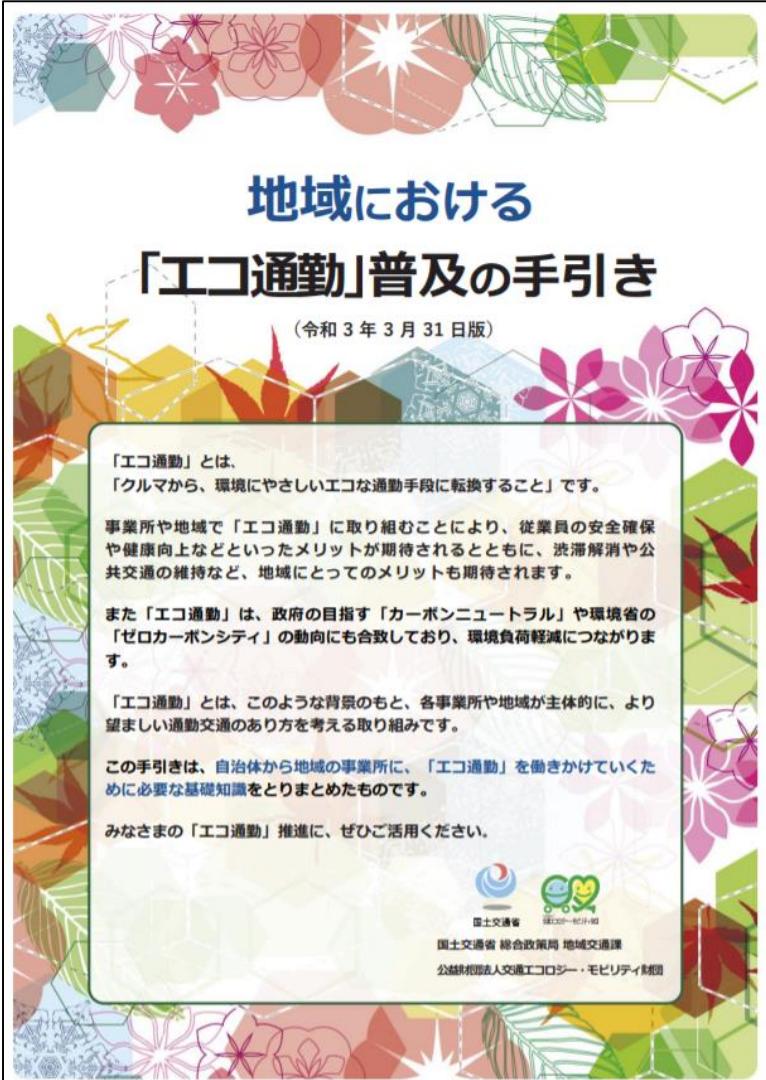
# 申請から認証登録までの流れ



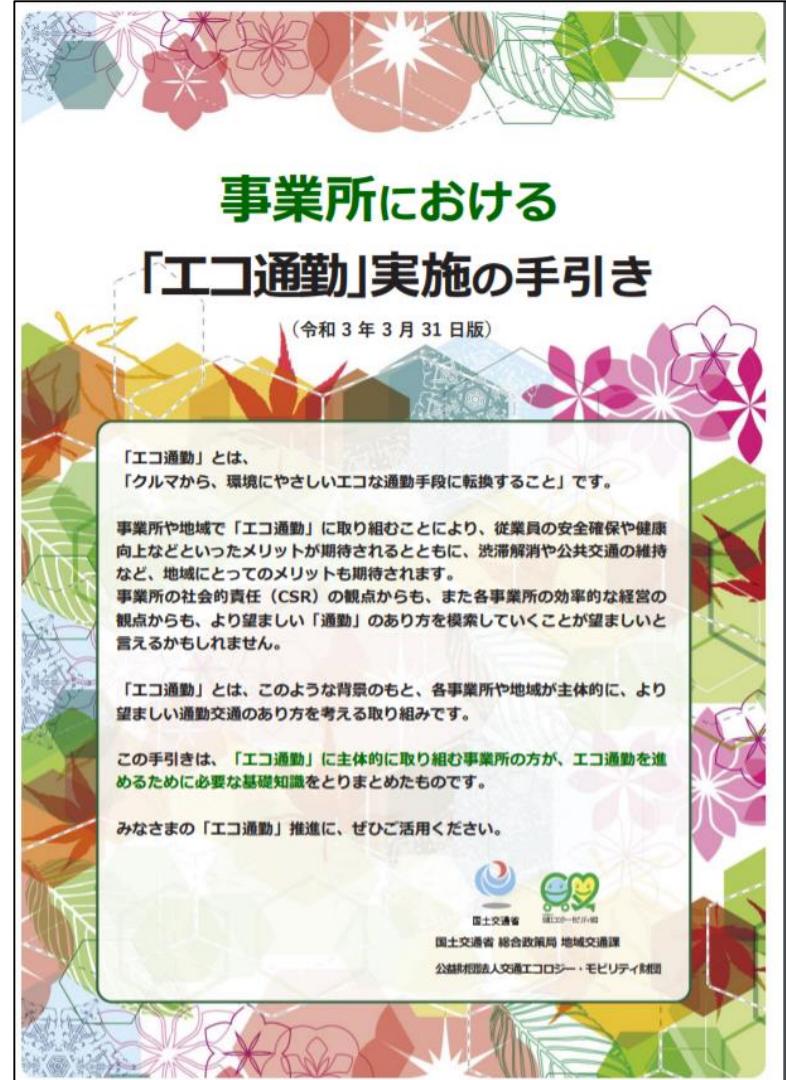
国土交通大臣表彰（交通関係環境保全優良事業者等表彰）に推薦



# 手引書



[http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/data/tebiki\\_jichitai.pdf](http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/data/tebiki_jichitai.pdf)



[http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/data/tebiki\\_jigyousho.pdf](http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/data/tebiki_jigyousho.pdf)

# 長期的な取組みで事業所・従業員・地域の三方よし

- 申請・登録費用は無料です。  
継続すればブロンズ、シルバー、ゴールド認証も。

申請は、最寄りの地方運輸局 交通政策部環境・物流課等より行うことができ（下記 URL または QR コード参照）、申請・登録とともに無料です。2年ごとに有効期限を延長していくことができます。継続していくことで、マークは図のように変化します。



認証・登録機関  公共交通利用推進等マネジメント協議会 【認証制度事務局】 国土交通省総合政策局地域交通課 (公財)交通エコロジー・モビリティ財団	有効期間  <b>2年ごと</b>  1年ごとに取り組み状況の報告を行い、 2回(2年分)の報告内容により、2年 延長あり	登録費用  <b>無料</b>
--	---	-----------------------

- 認証されると、『エコ通勤』関連情報をメールマガジンでお届けします。

『エコ通勤』を継続的に行っていくためには、優良事業所・自治体の情報共有が有効です。認証されると、各種の事例、継続的な取り組みへのヒント、制度の改正等、エコ通勤に関する情報を掲載したメールマガジンを定期的にお届けします。



「エコ通勤優良事業所認証」について、くわしくはこちらへ  
[http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/list\\_pref.html](http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/list_pref.html)



公益財団法人  
交通エコロジー・モビリティ財団  
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation